

日本好配当割安株オープンII（愛称 竹取物語）の運用状況

日本好配当割安株オープンII（愛称 竹取物語）

追加型投信／国内／株式

2017年8月28日

当ファンドは、2017年8月23日に第23期（2017年2月24日～8月23日）の決算を迎え、300円（1万口当たり、税引前）の収益分配を行いました。当ファンドに対するご愛顧に、厚く御礼申し上げます。本レポートでは、第23期の投資環境や運用状況についてご報告いたします。

1. 第23期の投資環境

第23期の国内株式市場は、円高米ドル安の進行が嫌気されたことや、北朝鮮情勢の悪化など地政学リスクの高まりなどを受けて、4月半ばにかけて下落しました。その後は、前年同期比で為替が円安水準にあることから企業業績の改善基調の継続が期待されたほか、米国株式市場が上昇したことなどから、国内株式市場は反発しました。しかし期末にかけては、安倍政権の支持率低下や、米国のトランプ政権で側近の離脱が相次いだことなどによる、国内外の政治情勢の先行き不透明感が嫌気され、国内株式市場はやや軟調に推移しました。

2. 第23期の運用状況

当ファンドの運用はマザーファンドを通じて行っております。マザーファンドの運用につきましては、株価が上昇し、好材料が概ね株価に織り込まれたと判断した機械や電気機器の組入比率を引き下げた一方、株価の出遅れで割安感が強まったと判断した輸送用機器や銀行業の組入比率を引き上げました。

第23期末の当ファンドの基準価額は10,026円となりました。1万口当たり300円（税引前）の収益分配を行いましたので、第23期の基準価額の値上がり額は分配金を含めて531円となりました。

マザーファンドの基準価額に対しては、業種別では、インターネット上の情報量の増加に伴う半導体や情報端末の需要増加の恩恵を受けると期待された電気機器や、企業の業務効率改善のための投資による安定成長が期待された情報・通信業などがプラスに寄与しました。一方、北米での自動車販売台数のピークアウトが懸念された輸送用機器や、国内外の長期金利の低迷が嫌気された銀行業などが基準価額にマイナスに寄与しました。

銘柄別では、半導体関連市場の好調で好業績が期待された東京エレクトロンやデンカ、買収観測で株価が急騰した野村不動産ホールディングスなどが基準価額にプラスに寄与しました。

一方、国内長期金利の反発が短期間にとどまり収益改善期待が後退した三菱UFJフィナンシャル・グループなどが基準価額にマイナスに寄与しました。

基準価額の変動要因

プラス寄与業種

	業種名
1	電気機器
2	情報・通信業
3	化学

マイナス寄与業種

	業種名
1	輸送用機器
2	銀行業
3	機械

プラス寄与銘柄

	銘柄名
1	東京エレクトロン
2	デンカ
3	野村不動産ホールディングス

マイナス寄与銘柄

	銘柄名
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ
2	東京海上ホールディングス
3	野村ホールディングス

（期間）2017年2月24日～2017年8月23日

本資料における銘柄紹介は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄への投資を推奨するものではありません。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「日本好配当割安株オープンII（愛称 竹取物語）」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



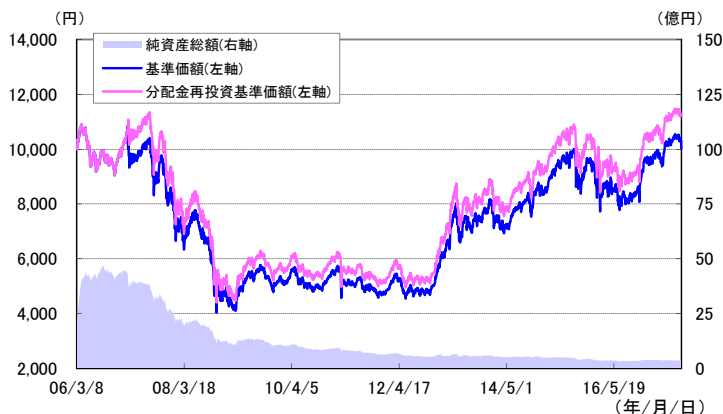
日本好配当割安株オープンⅡ（愛称 竹取物語）
追加型投信／国内／株式

運用状況

（作成基準日：2017年8月23日）

■基準価額の推移

（2006/3/8～2017/8/23、日次）



※上記のグラフの基準価額は1万口当たり信託報酬控除後です。
※分配金再投資基準価額とは、設定来の分配金（税引前）を当該分配金（税引前）が支払われた決算日の基準価額で再投資したものとして計算した基準価額です。
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

■ファンドの状況

基準価額	10,026円
純資産総額	346,484,983円
マザーファンド組入比率	93.7%
実質株式組入比率	90.8%
組入銘柄数	51銘柄

※基準価額は1万口当たりです。

■最近5期の分配金の推移

第19期(2015/8/24)	0円
第20期(2016/2/23)	0円
第21期(2016/8/23)	0円
第22期(2017/2/23)	0円
第23期(2017/8/23)	300円
設定来合計	1,200円

※分配金は1万口当たり、税引前です。

■組入上位10業種

順位	業種名	構成比
1	電気機器	15.9 %
2	輸送用機器	11.7 %
3	銀行業	10.2 %
4	卸売業	7.2 %
5	機械	6.8 %
6	情報・通信業	4.8 %
7	医薬品	4.6 %
8	化学	4.4 %
9	建設業	3.2 %
10	鉄鋼	3.2 %

■組入上位20銘柄

順位	銘柄名	構成比	順位	銘柄名	構成比
1	セイコーエプソン	4.6 %	11	パナソニック	2.4 %
2	デンカ	4.4 %	12	東京海上ホールディングス	2.4 %
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	3.9 %	13	小松製作所	2.3 %
4	三井住友フィナンシャルグループ	3.0 %	14	新日鐵住金	2.2 %
5	アマダホールディングス	2.9 %	15	双日	2.2 %
6	JXTGホールディングス	2.8 %	16	大塚商会	2.2 %
7	日本電気硝子	2.7 %	17	リコー	2.2 %
8	武田薬品工業	2.7 %	18	ヤマダ電機	2.1 %
9	三井物産	2.6 %	19	東京エレクトロン	2.1 %
10	日本たばこ産業	2.5 %	20	SUBARU	2.1 %

※構成比はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

日本好配当割安株オープンⅡ（愛称 竹取物語）ファンドの特色

- 収益性、成長性、業績変化率等から割安と判断され、株価の上昇が期待できる銘柄へ投資します。
- 定量的スクリーニング（業績動向、配当利回り、PERなど）により割安度を判断するとともに、リサーチによるスクリーニング（企業の競争力、株主還元策、配当政策など）を行い、財務の健全性、流動性を考慮のうえ投資銘柄を決定します。
- 組入れ株式全体の予想配当利回り（加重平均）が、市場平均（加重平均、今期予想ベース）を上回るようポートフォリオを構築します。
- 市況動向等への対応のため、株価指数先物取引等を活用することがあります。
- マザーファンドの受益証券の組入比率は、高位を保つことを基本とします。
- 株式以外の資産への実質投資割合（マザーファンドの投資信託財産に属する株式以外の資産のうち、投資信託財産に属するとみなした割合を含みます。）は、原則として、投資信託財産総額の50%以下とします。
- 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

（作成：エクイティ運用部）

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「日本好配当割安株オープンⅡ（愛称 竹取物語）」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



日本好配当割安株オープンⅡ（愛称 竹取物語）
追加型投信／国内／株式

日本好配当割安株オープンⅡ（愛称 竹取物語）に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「信用リスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
 - 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
 - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
 - ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.62%（税抜1.50%）
 - その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.0108%（税抜0.01%）
 - 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等マザーファンドの当該費用を間接的にご負担いただきます。（運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。



販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれております。)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡安証券株式会社	近畿財務局長(金商)第8号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
荘内証券株式会社	東北財務局長(金商)第1号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長(金商)第12号	○		○	
むさし証券株式会社	関東財務局長(金商)第105号	○			○
明和證券株式会社	関東財務局長(金商)第185号	○			
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
愛媛証券株式会社	四国財務局長(金商)第2号	○			
三京証券株式会社	関東財務局長(金商)第2444号	○			
三晃証券株式会社	関東財務局長(金商)第72号	○			
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○

<本資料に関するお問い合わせ先>

カスタマーサービス部 フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)